

65周年記念山行 穂高追悼山行

(記録)福澤 卓三

期間

平成26年8月2日(土)～3日(日)

参加メンバー

金井 良一、神谷 進、福澤 卓三

コースタイム

8月2日 新宿あずさ1号 7:00(発)～新島々 10:40(着)～帝国ホテル
12:05～13:10(発)～お墓 14:15(発)～明神 16:00(発)～徳澤園
17:30(着)

8月3日 徳澤園 8:30(発)～奥又出合 9:00(着)～10:10(発)～徳澤園
～11:10(発)～明神～12:40(発)～上高地 13:45(着)～14:05(発)
～新島々 15:25(発)

8月2日

7時発の梓1号に、早くでかけて場所取りするはずが、二度寝したらぎりぎりになってしまった。横須賀から来る二人も、横須賀中央で羽田行きに乗ってしまったらしく発車ぎりぎりに新宿に来た。私のみ指定券を持っていたので座れたが、二人は立って出発した。それでも運よく石和から座れた。松本から新島々までは、観光PRも兼ねて車掌らしき人が、車内でいろいろアナウンスしていた。サイトウ・キネン・フェスティバル松本がはじまると、これ一色になると言っていた。(来年から、セイジ・オザワ松本フェスティバルになる。)前から一度来てみたいと思って聞いていた。

新島々からタクシー(¥12000)で行こうと思っていたが、目の前にバスがきて、松本から上高地まで、電車とバス往復で¥4990であることがわかりバスで上高地へ。帝国ホテル前で下車したら、昼食時になり、帝国ホテルのランチはリーズナブルだということで、カレーライスくらいは食べてみたいと思ったが、順番待ちなのでそばや親子どんぶりを食べた。金持ちでない私達に親切で性格のよさそうなウェイトレスは感じがいい。

昼食後、帝国ホテル前のお墓は、一番若い金井代表が何回も行っているの
ですぐに見つけて、祭壇、遺影、お線香、酒、お供物、会旗、花をセット
してから、献杯、お参りをして会歌を歌い、先輩に後輩の安全登山をお願
いした。お墓は良い具合に苔むし、いたみもなく、誰か来た様子であった。



きれいに苔むしたお墓



手入れされていたお墓

本日は、徳澤園までである。荷物は軽い、合宿の時こんなことであこが
れていたものである。のんびり楽しく行こう。新緑の頃はもっときれいであ
る。観光客はゴールデンウィークほどではない。通いなれた道であるが
明神・徳澤と早く着いたような気がした。

徳澤のキャンプ場は相変わらず多くの天幕がカラフルできれいである。



若いころから憧れていた徳澤園のフロントで手続きをすませて部屋に行ってみたが、相部屋で、上下2段になっていて一人一畳で狭いが、布団もふんわりしていて清潔で、テントしか知らない山男には大満足である。足元には棚がありザックをおける。その下に足を突っ込んで寝るのだが、グッドアイデアである。



徳澤園のフロント



2段ベッドの上にて3人

東京の夜の蒸し暑さにくらべたら、涼しくてよく眠れそうである。このホテルには、氷壁のような物語がいくつもあったのだろうか。山の世界の格調の高さを感じさせてくれるホテルである。食事の前にビールを飲んで、イワナの夕食で満足である。やはり夜は涼しかった、金井は本当によく寝ていた。

8月3日

朝食をすませて、奥又の出会いに行くのだが、いつも手前の道から梓川にでてしまうが、川沿いに歩くのでこの道もよい。仮設の橋を渡り、パノラマコースの前を横切り、パトロールの人たちがいたので、いろいろ情報を仕入れて、出会いに到着。ガスがかかって上部は見えないが、ここで追悼することにした。昨日と同様に祭壇をセットした。大小の石や適当な太さの流木があり、しっかりと会旗をたてられた。祭壇用にも調度よい大きさの石があり、昨日より立派な祭壇ができた。お線香をたてておまいりをした。伝説のアルピニスト中村さんはどんな人だったのか。会って見たかった。安部さんがいたら、会はどのようになっていたか。後輩たちはがんばっていますよ。気持のよい天気の中、会歌を歌い無事に追悼ができた。



立派な祭壇



中村先輩と安部先輩



神谷会員と金井代表



神谷会員と福澤会員

ここからのんびりと帰路につき、徳澤は少し休んで通過。明神に向かう途中、道端に小鳥のひなが3匹いる巣をみつけた。こんなところで、よく育てているものだと感心して写真を撮った。



道端で見つけた小鳥



ガスにうずまくジャンダルム

明神でカロリーメイトで空腹を満たし、上高地についたらバスも待たずに乗れた。新島島も連絡がよく、松本では始発の臨時列車に座って乗れ 19時20分新宿に到着。